

No.	委員からの質問・意見	事業者回答	委員からの再質問・意見	事業者回答
1	p.47 (要約書p.7)の文言を確認してください	修正します。	－	－
2	p.57 (要約書p.10) 4.3.2 事後調査結果の検討において、「工事実施区域において適切に建設廃材がリサイクル及び処分されていたと判断した」とありますが、同ページの表4.3.3の実施状況の説明と合わないので、修正してください（表中では「伐採木は可能な限り、リサイクル業者へ運搬しチップ化を実施した」「建設副産物（建設発生土等）の発生を抑制した」とある）。	4.3.2事後調査結果の検討の文章を下記に示すとおり修正します。 廃棄物の環境保全の目標は、「工事中、建設廃材が適切に事業実施区域でリサイクル及び処分されていること」としており、施設調査の結果より、伐採木は可能な限り、リサイクル業者へ運搬しチップ化を実施され、土工量バランス(切盛土量)に配慮し、建設副産物(建設発生土等)の発生を抑制しており、廃棄物の環境保全の目標に満足したと判断した。	文章中の以下の2点についてご検討いただきたいと思います。 す。1、 リサイクル業者へ運搬しチップ化を実施され、 提案：リサイクル業者へ運搬しチップ化を実施し、 2、 廃棄物の環境保全の目標に満足したと判断した。 提案：廃棄物の環境保全の目標を満足したと判断した。	修正します。
3	要約書の図1、2、3、表1の文字が小さすぎて判読できず、公表に耐えないように思いました。	図面を大きく修正します。	－	－
4	2025年1月に供用開始予定とのことですが、特に下草の管理など、完成後に問題になってくともあると思います。 しっかり地域環境の維持管理を続けていただきたく思いました。	供用後も定期的に施設のメンテナンスを計画しております。 経産省に提出している保安規程に基づき、毎週現地確認を行い、維持管理を続けていきます。	－	－
5	4.2.1 環境調査 (1)植物の項で、「移植した植物の重要な種と、改変区域外に生育する植物の重要な種は2022年11月22日にモニタリング調査を実施し報告済みである。」とされていますが、調査日の記載だけでは、該当する情報の掲載された報告書を探すことは困難であり、より詳細な情報の提供、または報告内容の再録を希望します。また、植物・動物イカリソウ、センボンヤリ、カシワバハグマなどの重要な植物種の移植方法に関して、山野草栽培の書籍情報を参考にしたとありますが、具体的な出典などは記されておらず、十分な検討がなされたのかどうかの判断が困難です。少なくとも参考にした図書などのリストを掲載していただくよう希望します。また、書籍情報だけでは無く、専門家の指導を求めるなど、より踏み込んだ対応をとって頂ければ良かったのではと考えます。	植物のモニタリング調査は令和4年度事後調査報告書で報告済みですので、「移植した植物の重要な種と、改変区域外に生育する植物の重要な種は2022年11月22日にモニタリング調査を実施し令和4年度事後調査報告書にて報告済みである。」と修正します。 移植方法の参考文献についても令和5年度事後報告書の49ページに掲載しています。要約書では紙面の関係で省略させていただきます。また、移植方法についても移植地の選定など委員の指導を受け環境条件を測定して決定しました。	－	－
6	報告書 14 ページ、表 3.2.1 では令和5年度の調査実施項目は水質、動物、廃棄物のみであり、大気質、騒音、振動の調査は実施されていません。 これらは令和4年度に実施されており、「1回／工事期間」とされていますので、令和5年度は実施されなかったのでしょうか。 それぞれ「最大となる時点」に実施することになっていますが、工事は令和4年11月に着手され、令和4年度は「準備工」のみで、令和5年度は様々な工事で掘削、土砂運搬などが実施されています（6 ページの表 2.3.3）。 そのため、令和4年度に工事の影響が最大であったとは考えにくいのですが、いかがでしょうか。 （なお、表 2.3.2、3.1.1、要約の表1の工事工程の表は文字が小さく、まったく判読できませんでしたので、昨年度の報告書の工事工程を参照しました。）	工事中の大気質、騒音、振動の調査は、ご指摘通り、工事最盛期に調査を行う計画(1回/工事期間)でした。また、工事開始段階の計画から、令和5年1月から第1工区の伐採工が開始され、全体的にも令和5年3月～5月が工事最盛期の計画でしたので令和5年3月に大気質、騒音、振動の調査を実施しました。なお、令和6年3月時点で建設作業機械の稼働台数は、令和5年3月～5月で最大台数(17台)でした。	－	－
7	p.10 表2.3.2 p.16 表3.1.1 次年度の事後報告書では改善をお願いします。（要約書の図も同じ）	次年度の事後報告書で改善します。	－	－
8	工事中の環境保全措置(水質)について 定期的に沈砂池に溜まる土砂を確認し、溜まった土砂の浚渫を行ったとされ、図 4.1.2として写真1と写真2が示されていますが、実施した場所がわからないので地図で示してください。写真には「①号エリア」と記載されていますが、①号というのは、水質測定場所（図 4.1.1）での仮設沈砂池①のことなのか、よくわかりません。	仮設沈砂池①の写真でしたので、図 4.1.2 環境保全措置の実施状況（仮設沈砂池①）と修正します。	－	－
9	セトウチサンショウウオ、ギフチョウは確認されたとはいえごく少数で、生息環境の改変の影響で今後衰退、絶滅の可能性も考えられるが、今後のモニタリングの予定はないのか。	施設供用後3年間はモニタリング調査予定です。	－	－